

# 茅ヶ崎セントラルクリニック

川島 希望 ( 管理栄養士 / 栄養科 )

**功 績** AIを活用し、業務負担を軽減するアイデアを日常業務に取り入れた他、AIスタートアップセミナーで事例発表し、グループ内他施設の栄養士に向け情報発信できた功績

**推 薦 者** 若林陽盛 (事務長)

**推 薦 理 由** 自らの業務の質を高めると同時に、業務効率を上げ、工夫を施しながら、安全、経営、親身な対応それぞれを意識しつつ、やらされ感ではなく自ら進んでAIを使う姿は理事長賞に相応しいと考えます。

## 内 容

---

これまでコンビニ透析食の研究など、多様な独自アイデアを形にしてきた川島が、新たに注目したのはAI (人工知能) の活用でした。昨年、茅ヶ崎セントラルクリニックではChatGPTの有料アカウントを契約し、利用上の注意事項を整備したうえで希望する職員に使用を促す取り組みを始めました。川島はすぐに興味を示し、自身の業務でどの部分をAIに代替できるか、また新しいアイデアを生み出すにはどうすればよいか、研究を重ねるようになりました。

まず取り組んだのは、月1回作成している患者さん向け情報誌「透析だより」のコラム執筆支援です。次に、栄養指導の際に患者さんの日々の献立をヒアリングして行う栄養計算にAIを活用しました。特に栄養計算では、文部科学省の日本食品標準成分表をChatGPTに覚えさせることで、AIが陥りがちなハルシネーション (誤認識) を防ぎ、より正確な結果が得られるよう工夫しています。

こうした取り組みを事務所で目にした事務職員たちも刺激を受け、「自分もAIを使ってみたい」という声が増え、大きな波及効果が生まれました。さらに2月17日に開催された「第6回AIスタートアップセミナー」では、川島がこれらの事例を発表し、参加者の中にいた同じ栄養科の管理栄養士にも共有されたことで、健育会全体にAI活用の取り組みが広がりつつあることを感じました。